

2019年度 LCA国際小学校 学校自己評価

学校教育目標	重点目標(中・長期目標)	総合評価					
◆社会の一員として個性を生かして、社会に貢献できる人間の育成 ◆世界を舞台に活躍できる人間の育成 ◆生きることの素晴らしさを知った人間の育成	信頼できる学校づくり(教育の質・保護者などへの連絡の正確さ) 子どもの英語教育センターとしての機能の充実(教材・プログラム・人材)	組織強化に取り組んだ。英語の教育センターとしての役割を果たせるよう、また次年度より全面実施となる新学習指導要領に合わせて、新カリキュラム作りに取り組んだ。					
	今年度の重点目標	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
	学校の組織を強化する(教務の仕事と事務の仕事の明確化)ことで、教務が教育の質を上げ、事務が正確でミスのない仕事をできるようにする	学校組織を更に強化すべく、教務、事務それぞれの業務を仕分けて、質の向上を目指す。		○			教職員の増員 組織強化と業務仕分け
	各教科の指導計画の見直しと向上	次年度より全面実施となる新学習指導要領に合わせて新カリキュラム作りを行った。		○			新カリキュラム実践からの検討・研究

領域	対象	目標	評価の観点	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
教育活動	教育課程	学習指導要領に準じながら英語力を伸ばすカリキュラム作り	児童会・委員会活動の定着	概ね順調に活動できた。		○			今後も委員会活動などの特別活動においても子どもたちが自ら自然な形で英語を使う場面を設定していく。
	教科指導	体育:運動量を増やす。カリキュラムに変化を持たせ、飽きさせない授業ができる。講師を招いて教員研修をする。	日本の体育指導の良い点を取り入れ、運動量を多くした指導法の確立。	体育の授業に精通した教員を配置した。またオンラインやプロアスリートを招き特別授業を行い、児童と共に教員も参加することで指導法について学ぶ機会を設けることができた。	○				今後も講師による特別授業の設定を継続し、授業を向上させていく。
		英語:独自開発したオリジナルテキストを使用し、ディスカッション・ディベートなどの能力を上げる。	高学年:授業の中で学んだことを活かして、英語でディスカッションができる。	英語のオリジナルテキストを使った授業が定着している。		○			英語による更なるコミュニケーション能力の向上の方法について検討する。
		国際人としての国語力とは何かを見直し、研究し、オリジナルのテキストの作成にとりかかる。一部は授業で使用を始める。	オリジナルの教材を使用して効果的な授業ができる。	通常カリキュラムの中での使用を計画していたが難しいところがあったので、図書室での利用に切り替えた。				○	オリジナルテキストの使用方法について検討しつつ、今後も国語に関する力の伸長について向上策を考えていく。
	児童指導	「自分の気持ちを、相手にきちんと伝える。相手の気持ちを受け取れる。」ことを大切にした児童指導の徹底。特に養護教諭がカウンセリングをできるようにする。	児童が学校で起きたトラブルなどで、気持ちが曇ったまま帰宅することが無いよう取り組めたか、また、家庭との連絡やその後のフォローは適切にできたか。特に担任、養護教諭が対応できたか。	児童との相談、保護者との相談を教員が一丸となって取り組んだ。スクールカウンセラーによるカウンセリングを実施した。	○				児童支援体制を強化する。
学校運営	地域との連携	地域と連携し、社会科見学を実施する。また、実際の話を聞くために、地元の方を講師として招く	地域の方との連携で効果的な指導ができたか	清掃工場の見学や、商店街へのまちたんけん、また相模原補給廠のEarth Dayイベントの参加などを通して社会科見学を実施した。		○			地域との連携の仕方について検討していく。
	研修	LCAの教育理念を理解するための研修 新しい学力観に基づいた授業の研修 自立した子を育てるための野外活動研修	研修は適切に行われたか、また、効果はあったのか	春休み、夏休みの期間を利用して、研修に努めた。		○			校内のICT整備に伴い、授業での活用について研修を進めていく。